「生徒のよりよい学校生活のために」を進めていく中で
～池田中学校における、持続可能なＰＴＡ活動の在り方～

池田町立池田中学校

１　ＰＴＡ活動方針

（１）活動スローガン　「生徒のよりよい学校生活のために」

ＰＴＡ活動や組織の在り方が社会で議論されている中で、池田中学校 PTA では、役員等の負担を軽減するなど、活動のスリム化を図ってきた。昨年度は、広報誌の発行回数の見直しや地域の方から支援いただいた準会費の廃止など、柔軟に対応してきた。

今年度もＰＴＡ活動の中で残すべきもの、見直すべきものを見極め活動していくことが学校、生徒を支えていくために大切だと考え、前年の方針を引継ぎ、「生徒のよりよい学校生活のために」とし、今後、持続可能なＰＴＡ活動を進めていくこととした。

２　ＰＴＡの活動について

（１）　本校ＰＴＡの現状

本校は、池田町内の５つの小学校（内１校は組合立）から生徒が集まり、町内１校となる中学校であるため、生徒が６９８名在籍する。そのため、ＰＴＡ会員の会員数は６６０名（保護者：６１４名　教職員：４６名）と規模が大きな組織となっている。

池田中学校

本校ＰＴＡは、全体の計画を企画する本部役員会（６名）、子育て委員（１０名）と広報委員（１０名）からなる専門委員会、各学年代表からなる学級委員会（３名）、町内１０地区の代表からなる支部長会（１０名）で構成されている。また、各支部には、実際の活動を行う分会に分かれており、その代表の分会長（４４名）が中心となり活動を進めている。

＜ＰＴＡ組織＞

役　員	主な業務
本部役員	ＰＴＡ活動の企画・運営
子育て委員	研修等の立案・運営
広報委員	ＰＴＡ活動の啓発
学級委員	各学年での活動等の企画・運営、学年会計監査
支部長	各地域における活動の推進
分会長	各分会の運営

これまで池田中学校ＰＴＡは、全校生徒数が多く、会員が多いことを活かし、多くの方に参加していただきＰＴＡの組織を構築することで、その組織力を活かし研修会や各委員

会での活動を行っていた。

しかし、近年、両親ともに仕事に就いている方が保護者の大半を占めるようになり、かつてのように全校でのＰＴＡ活動については、多くの保護者に参加していただき、活動を進めていくことが難しくなっている。

また、コロナ感染症により、多くの活動が制限されたが、ＰＴＡの活動も例外ではなく、多くの活動が、それまでのように行うことができなくなってきた。

さらに、近年、社会的にＰＴＡ活動の在り方が話題となり、ＰＴＡの組織や活動そのものの在り方が各所で検討されている。この流れは、池田中学校においても話題となり、ＰＴＡ活動の見直しを進めていくきっかけとなった。

（２）ＰＴＡ活動

池田中学校でのＰＴＡ活動の現状から、継続的なＰＴＡ活動の在り方として、できるだけ多くの保護者に参加していただく方策を検討してきた。その中で、多くの保護者へ参加を促すために、１つは、研修会の参加方法について、もう１つは各地区での活動内容についての見直しを行った。

ア　研修方法の見直し

まず、保護者向けの研修会の開催方法を見直した。以前は、保護者向けの研修会を企画し参加を募ってきた。見直し後は、**生徒対象の講演会を保護者にも案内することで、その講演会をＰＴＡの研修会の１つとし、講師派遣依頼や日程等の効率化を図った。**

また、研修会の**開催方法を参集型からＷＥＢによる動画視聴での参加に変更し**、保護者の都合に合わせて参加することが可能となり、気軽にＰＴＡの活動に参加できる仕組みとした。

＜昨年度の実践＞

①　がん教育に関する講演会

●日　時：令和６年９月５日（木）　１３：２０～１４：１０

●場　所：池田中学校　２年４組教室（生徒：学年集会室）

●対　象：保護者　希望者（生徒：２年生（２０４名））

●内　容：本事業は、岐阜県がん教育推進支援事業の一環として、がん専門看護師による講演会を、２年生を対象として行った。また、本講演会は、本校の家庭教育学級の研修として位置づけ、保護者に呼びかけて実施した。なお、平日開催となるため、参加は希望制として実施した。当日は、岐阜・西濃医療センター　西濃厚生病院　がん看護専門看護師　田上知江美さんをお迎えし、「日本のがんの現状」と題し講演していただいた。保護者については、会場の都合上、別室でオンラインにて視聴した。

がん教育に関する講演会

講演では、「がんは、どのような病気なのか」、

「がんの原因はどのようなものか」、「がんにならないための生活とは」などを講演いただいた。

なお、参加した保護者から以下の感想が得られた。

・がんについて知ることができて良かった。

・がんのことを知ることができたので、子どもとがんについて話をしてみたい。

・中学生対象ではあったが、親として考える部分があり良い機会となった。

●本事業の成果と課題

本事業は、生徒対象としたものであるが、実際に参加した保護者からは、子どもだけではなく、自分自身のこととして受け止めていただくこととなり、保護者にとって良い研修の機会となった。

ただし、平日での開催であったこと、講演会の周知の不十分なことがあり、参加者が少なかった。このことは、今後の同様の研修会の進めていくためにも、今回課題となったことを改善していく必要がある。

②　情報モラルに関する研修

●期　日：令和６年１２月中旬

●場　所：各家庭にて視聴

●対　象：全学年（６８８名）の保護者と生徒

●内　容：本事業は、岐阜県家庭教育 YouTube チャンネルで公開されている「情報モラル」に関する動画を家庭で子どもと共に視聴する形態で進めた。

本校は生徒数が多く、全校を対象とした親子活動の形式では取り組みにくい状況であるため、オンラインによる研修会を実施した。そして、保護者自身の都合に合わせ、動画を視聴することができるように、視聴期間を一定期間設けて実施した。

岐阜県家庭教育 YouTube チャンネル

●本事業の成果と課題

本事業は、全学年の保護者と生徒を対象とし、本校の実態を踏まえ、Web による動画の視聴による研修会とした。

岐阜県家庭教育 YouTube チャンネルで公開されている「情報モラル」に関する動画を視聴することで、**自宅等での視聴が可能になり、保護者への負担感を軽減できた。また、講師の決定や日時・会場の調整に関する業務を軽減することができた。**

ただし、各家庭で動画を視聴するため、参加実態が正確に把握できないという課題がある。今後、多くの方に参加していただくためにも、**参加実態を把握する方法を検討する必要がある。**

イ　各地区での活動の見直し

池田中学校では、各地区の活動として、地区ごとに「分会」に分かれ活動を行っている。以前は、清掃活動など学校全体で統一した活動、分会ごとに企画した小学校との合同の活動などが行われてきた。しかし、生徒数の減少や地区ごとの参加者の都合で、活動が困難な地区が多くなった。そこで、統一した活動を取りやめ、各分会で実情に合わせて実施する形態に変更した。

この変更によって、**ＰＴＡ全体と分会のそれぞれの活動が柔軟なものとなった。**そして、**各分会の実態に合わせ活動する事ができるようになったことで、分会の運営に自由度が増し、活動そのものの負担が軽減された**と考える。ただし、今後、生徒数が減少していくことを考慮すると、分会そのものの在り方を検討する必要があると考える。

３　おわりに

これまで、本校のＰＴＡ活動は、多くの保護者の理解のもと行われてきた。しかし、生徒数の減少や保護者のＰＴＡ活動の参加への理解、社会の中での捉え方など、大きく変化してきている。これまでのような活動を続けていくことが困難となってきた中、本校が行ってきた見直しによって少しでも多くの保護者の参加につながればと考える。

ただし、今回の見直しは、いずれ再度の見直しを行わなければならない。**その時々にあわせた見直しを行うことで、持続可能なＰＴＡ活動を進めることができ、そのことが、「生徒のよりよい学校生活のために」のＰＴＡ活動になると考える。**